

多くなる。
人生の最後をどのように終
わらせるかについての啓発活動
も大事になっている。

主な質疑

Q：17名の年齢分布はどう
か。

A：80歳以上がほとんど(12
名)である。

Q：お金が無くて療養施設
などを利用できなくて困っ
ている人はいないか。

A：月額2,000円以内の
利用料で収めてほしいとい
う要望が出されることもあ
る。その場合も、ケアマネが
30分の訪問介護にできるだ
け仕事を詰め込んだり、料
金が安いデイサービスをう
まく活用したりと、お金を
掛けない支援の仕方を精
一杯考えて対応している。

Q：3ヶ月で転院しなければ
ならないということが家族
にとっては一番の負担だ。病
院の収入減を町が補助して
埋めるなどの対応で、転院
しなくても済むと言う方法
は考えられないか。
A：町の負担が多すぎてそれ
はできない。

2 町立湯沢病院の運営状
況について

7月末現在の一部負担金の

未収金状況は以下の通りであ
る。

町内者 13名 70万6,674円

町外者 48名 89万7,884円

町内は一人当たりの金額が
高い。入院患者や資格者証の
方が含まれているためだと思
われる。

町外者は、一度受診した後
転院したが、湯沢病院への支
払を忘れていた人、夜間・休
日などの清算ができない時間
帯の受診者が一時預かり金で
は不足していた場合などであ
る。

電話や手紙で支払をお願い
しているが、最終的には訪
問もしている。支払いがないか
らと言つて診察を拒否するよ
うなことはしていない。

主な質疑

Q：病院経営は指定管理者
がやっているのだから、町が
介入する問題ではないので
はないか。

A：町民の未払いがあるとし
たらどのような状況なのか
を知る必要がある。

3 後期高齢者医療制度に
ついて

保険料の滞納によつて短期
保険証に切り替えられる可
能性のある人が5名いたが、
いずれも納付相談に応じて納
付の意志が確認できたので、
今回は短期証の交付は行わ
ない。

高齢者医療制度の中間取
りまとめ(案)についての概要
説明。

主な質疑

特になし

産業建設常任委員会報告

委員長 田村計久

開会中の委員会審査

平成22年9月7日

議案第45号

平成22年度下水道特別会
計補正予算(第1号)につ

いて

審査の結果

「賛成全員で採択すべきもの
と決定」

歳入歳出予算の総額に歳
入歳出それぞれ940万4千

円を追加し、歳入歳出予算
の総額を歳入歳出それぞれ10
億8,604万2千円とする
もので、歳入は21年度繰越金
940万4千円、歳出は湯沢
浄化センター雑用水管の修繕
500万円、マンホールの改修
8ヶ所140万4千円、松川
浄化センター曝気機の修繕3
00万円である。

主な質疑

特になし

議案第46号

平成22年度水道事業会計
補正予算(第1号)につ
いて

審査の結果

「賛成全員で採択すべきもの
と決定」

予算第4条に定めた資本
的収入及び支出の予定額の変
更で資本的収入額が資本的
支出に対し、不足する額が当
初より7万8千円減少し1
億9,644万7千円となり、
当年度分消費税資本的調整
額573万4千円と過年度
損益勘定留保資金1億9、
071万3千円で補填する
ものである。

資本的収入の工事負担金
は、消火栓の新設89万7千
円が南魚沼市からの収入、資
本的支出の建設改良費は、楽

町会館前に設置した消火栓
の工事費で81万9千円である。

主な質疑

特になし

議会中以外に行われた
委員会報告

平成22年7月29日

1 湯沢砂防事務所他管内
視察について

視察か所

- ・ 滝の又残土処分場
- ・ 旭原湖畔トイレ、旭原集落
開発センターグラウンド・ため
池
- ・ 林道大源太線
- ・ 体験・陶芸工房「旭窯」
- ・ 体験工房大源太
- ・ 土樽地内魚野川河川状況
- ・ 土樽自然公園
- ・ 毛渡沢第二砂防堰堤
- ・ マス留り
- ・ 落差工(ストックヤード前)

管内視察地を所管している
町並びに湯沢砂防事務所(所
長以下7名)の各担当者から
現況及び再新工法による施行
地の説明を受けた。この中で
課題となっている事項や今後
の検討事項について有用な意
見が出るなど委員にとって新
たな認識を得た一日となった。